

審議結果

(賛否の分かれた議案)

○…賛成 ×…反対

議案名	議員名 (上段は会派…正式な会派名は8ページ)															審議結果		
	自 民					公 明					住 民	改 革	共 産	民 主				
	竹嶋	島	上野	森	原	小池	小野	高水	石川	小山	青山	小川	下野	谷	近藤		大坪	齋藤
議案第47号 専決処分の承認について(瑞穂町国民健康保険条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	可決
議員提出議案第2号 瑞穂町議会議員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	可決

土地開発公社 ~4億円の含み損~



ゲートボール場として活用している公社の土地(石畑地区)

今回、町側から土地開発公社に関する報告がありました。この内容を受け、議会側から経営状態について、含み損を示す資料を求め、質疑を行いました。

なお、土地開発公社については、議決事項ではありませんが、取り扱う金額が大きいため、議会で質すことが必要と判断し、町側に要請した経緯があります。

現在、土地開発公社では、5カ所(殿ヶ谷地区2カ所、石畑・長岡・元狭山地区それぞれ1カ所)の土地を保有しています。

議員からの質疑(抜粋)

- Q** 含み損が約4億円あるが、原因をどう分析しているのか。
- A** 損失が発生した主な要因として、平成3年のバブル期に購入した土地の下落がある。これは、当時、産業廃棄物業者の進出計画があり、地元の方々の強い要望を受けて、公社が先行で土地を購入する必要があったためである。
- Q** 公社から土地を買い上げるまで、有効活用を図ったか。
- A** 資材置き場や、ゲートボール場などに活用した。
- Q** 含み損を圧縮するための施策は。
- A** 殿ヶ谷地区土地区画整理事業地内に所有する土地が最も影響が大きいため、換地が終了次第、順次買い上げていく。

※土地開発公社
必要に応じ自治体が設立し、地域の秩序ある整備と住民福祉の増進に寄与するため、公共用地などを先行で取得したり管理、処分などを行う。

議会活動日誌

4月

- 1日 議会だより編集委員会
- 9日 議会だより編集委員会
- 16日 議会だより編集委員会
- 24日 総務常任委員会協議会
- 〃 議会活性化特別委員会
- 〃 議会だより編集委員会

5月

- 7日 基地対策特別委員会
- 14日 都町村議会議員講演会
- 16日 厚生文教常任委員会視察(埼玉県行田市)
- 20日 東京河川改修促進連盟総会
- 21~23日 総務常任委員会視察(福岡県大木町・佐賀県多久市・佐賀県唐津市)
- 26日 議会運営委員会
- 30日 議会活性化特別委員会

6月

- 4日 本会議
- 5日 本会議
- 6日 本会議
- 〃 全員協議会
- 9日 総務常任委員会
- 10日 産業建設常任委員会
- 11日 厚生文教常任委員会
- 13日 議会運営委員会
- 〃 交通環境対策特別委員会協議会
- 17日 本会議
- 〃 全員協議会
- 24日 議会だより編集委員会
- 25日 産業建設常任委員会視察(箱根ヶ崎地区)
- 〃 議会だより編集委員会



5月14日、都町村議会議員講演会

陳情審査

- 「郵政民営化見直し」に関する陳情
審査結果 参考配布
- 寿楽バスを無料運行についての陳情
審査結果 参考配布
- 下水道使用料の減免についての陳情
審査結果 趣旨採択
- 議会は使命を果たすことを求める陳情
審査結果 参考配布
- 「高齢者に負担増と差別医療を強いる後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める国への意見書を提出する」陳情書
審査結果 不採択

